

くるくる風車

【個人出展】

おもしろ実験研究所(岡山県) 高見 寿

●どんな工作・実験なの？

画用紙を短冊状に切って、ねじって固定して羽根にします。羽根に風を当てると、羽根は回転します。風車です。羽根の数や、回転の向きを工夫してみましょう。

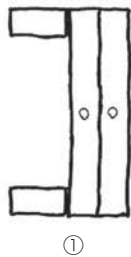
●工作・実験のしかたとコツ

【用意するもの】

リボン状の画用紙4枚、ストロー（太、中太、細）、ハサミ、ホチキス

【工作・実験のしかた】

- (1)リボン状の画用紙2枚に中央に穴をあけます①。
- (2)2枚の紙を交差させて、ホチキスで紙片に固定し、羽根を作ります②③④。
- (3)3種類の太さ（太・中太・細）のストローを準備します。羽根と羽根の間に太ストローをはさみ、中太ストローを貫通させます⑤。
- (4)さらに、細ストローに貫通させ、回転できるようにします⑥。
- (5)持って走ったり、風を当てたりすると、風車として回ります。
- (6)羽根の数、回転の向き、羽根の色、羽根の段数、など各自で工夫してください⑦。



①



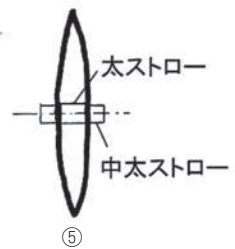
②



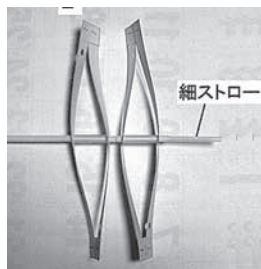
③



④



⑤



⑥



⑦

●気をつけよう

- ・ハサミを使うときは、ケガに気を付けましょう。
- ・持って走るときは、広い場所で、周りに注意しながら走りましょう。

●もっとくわしく知るために

羽根は風を受けて回転しますが、回転の向きは羽根をねじる方向で反対向きになります。風の向き、羽根の向き、回転の向きの関係は、力の働き方の問題です。詳しいことは、中学校理科か高等学校物理の教科書を参考にしてください。